



「会計事務所決算品質大賞」 税理士法人新日本が日本一に

会計事務所博覧会2014

全国の会計事務所が決算書作成の 腕を競うコンテスト

株式会社ゼイカイが運営する「会計事務所博覧会2014」で実施された国内NO1の会計事務所を競う「会計事務所決算品質大賞」で、税理士法人新日本の八木俊助税理士が日本一となった。

「会計事務所決算品質大賞」は、全国の税理士事務所の税理士や職員が、会社の決算書をいかに「早く」「正確」に作成するかを競う大会で、架空の会社の伝票や預金通帳などの証憑書類から決算報告書と元帳を作成し、eメールで提出された決算書の正確性とスピードから優勝者が決まる。

本大会は感情的なものが一切入り込む余地がなく、会計事務所としての真の実力が客観的かつ公平に審査される、真の日本一を競うコンテストということもあり、全国から優秀な税理士、職員が集合した。

初優勝事務所は税理士法人新日本

eメールで提出された決算書をもとに、会計事務所決算品質大賞実行委員会が厳正に審査を行った結果、税理士法人新日本の八木俊助税理士（東京都港区、利用システム・フリーウェイ（経理）が見事、初優勝した。2位は、わみ会計事務所の和美智伸税理士（東京都豊島区、利用システム・タテムラ）、3位は渡辺宏幸税理士事務所（東京都調布市、利用システム・フリーウェイ（経理）の川上佳恵さん。

受賞者にはそれぞれ、クリスタルトロフィーが贈られた。

優勝した八木税理士は、「初めての企画ということで、自分の実力を試そうと思って応募しました。実力のある職員の方や先生方が多いと聞きましたので、まさか優勝するなんて、夢にも思いませんでした。来年もぜひ参加したいと思います」と表彰式で語った（写真は、高橋篤夫実行委員長から優勝トロフィーを授与された



会計事務所博覧会2014の様子



八木 税理士)。

税理士法人新日本は、全国各地に拠点を持つ巨大な税理士法人。品質では全国的に高い評価を受けている事務所だが、受賞はそれを裏付けたといえる。

今回、参加者が税理士と職員が半数ずつという中で、3位に職員が入賞した渡辺宏幸税理士事務所の渡辺所長は喜びを隠さない。「職員のレベル低下が深刻化している中で、当事務所の3位入賞は大変うれしいことです。」とコメントした。

事務所の職員のレベルが分かる

会計事務所決算品質大賞は各事務所の対外的な事情にも配慮して、順位は上位3名までを公表し、以下は秘密保持される仕組みとなっている(所長には書留で報告される)。

職員をエントリリーさせたある先生は、「事務所の職員のレベルを知るためにも有効でした。今回は職員を全員出場させ、コンテストの順位で給与体系を見直すというのもしょかもありません」「ダメだと思っていた職員のほうが、好成績だったことが意外でした。今まで年季の入った職員のほうが仕事ができると思っていました」と前向きだ。

コンテストからみえてきた 会計事務所の課題

日本一となった税理士法人新日本が、国内で最高品質の事務所という栄冠に沸く一方、今回の会計事務所決算品質大賞により大きな問題点がクローズアップされた。それは、今回のコンテストの平均得点が100点満点中、47・5点という低さということだ。

「全国から優秀な方々が集まったため、出場された方は満点がほとんどだと思っていたので大変意外でした。税理士事務所はサービスマンという先生もいらっしゃいますが、サービスマンといううたう前に、まずきちんと決算をできる職員を育てることも必要ではないかと感じました」と高橋実行委員長は語る。

また、利用する会計ソフトによるスピードの差も出てしまった。会計事務所システムの中で最速といわれるフリーウェイ経理と他社システムのスピードの差がそのまま順位に反映されたことも今後、考慮すべきかもしれない。

なお、来年度もこのコンテストは実施される予定で、エントリリー等についての詳細や、今年出題された問題は「会計事務所博覧会」ホームページ(<http://www.zerishexpo.com/>)にて案内していく予定だ。